

モンタン・石油 ワックス代替 *Change*

太陽の生み出す純粹さ
石油・石炭合成系を凌ぐ植物ロウ

モンタンワックス代替

- カルナウバロウ
- 米ヌカロウ

石油ワックス代替

- キャンデリラロウ

Authentic
CERARICA

《シャイな心でものづくり、ピュアな心で研究開発、ホットな心で御紹介》



株式会社セラリカNODA
SINCE 1832

〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津7202 TEL: 046-285-1265(代) FAX: 046-286-2800

<http://www.cerarianoda.com>
mail:good@vesta.ocn.ne.jp

太陽の生み出す純粹さ 石油・石炭合成系をはるかに凌ぐ植物ロウ

モンタン・石油 ワックス代替 *Change*

21世紀に生かす「生命ロウ」の可能性

生物がみずからの生体を保護するために分泌するロウを、セラリカNODAでは「生命ロウ」(セラリカ)と呼んでいます。何千万年何億年という気の遠くなるような時間をかけて、生物が進化の途上で生み出してきた生命ロウには、人間の知恵のはるかに及ばない生命のもつ優れた機能が刻みこまれています。

セラリカNODAでは、汲み尽せない可能性を秘めた生命ロウを、人間の頭が生み出した石油・石炭合成系ワックスに代わる優れた植物ワックスとしてお届けしております。

モンタンワックス代替 **カルナウバロウ**

カルナウバロウは、ブラジルの熱帯雨林地帯に生育するカルナウバヤシの葉から採取した、最高品質の植物系セラリカ(生命ロウ)です。天然植物ロウのなかでも、つや・光沢性・強靱性・硬さ・微結晶性において最も優れ、ほかの油性原料をまとめ、硬度調整の機能も高く評価されています。

セラリカNODAのカルナウバロウは、安全性の高さでも知られ、粒ガム・粒チョコレートの表面コーティングやフルーツワックス、グラタン表面保護剤など、食品分野において幅広い用途に用いられています。また、融点調整性・光沢性・防湿性・乳化性に優れていることから、口紅やファンデーション、ヘアワックスなど化粧品分野でも幅広く利用されています。



利用分野

- ・化粧品 ・医薬品
- ・食品のコーティング、艶出し、保湿
- ・カーワックス
- ・プリンターのトナー
- ・半導体チップの離型剤
- ・塗料 ・精密鑄造
- ・磨き剤 ・皮革工業

製品参考値

- GMO …………… なし
- 由来原料 …………… カルナウバヤシの葉
- アレルギー物質 …… なし
- 原産国 …………… ブラジル
- 形状 …………… フレーク状・パウダー状
- 色調 …………… 淡黄色～淡褐色
- 酸価(AV) …………… 10以下
- ケン化価 …………… 78～95
- ヨウ素価 …………… 5～14
- 融点(℃) …………… 70～90

モンタンワックス代替 **米ヌカロウ**

米ヌカロウは米ヌカから抽出される植物系天然ワックスで、長寿の因となるオクタコサノールを多く含んでいます。原料となる米ヌカは米が長い歴史の中で主食となりえたように、安定供給性に優れています。漂白しやすく、融点相応の硬度があり、精製により不純物を完全に除去することができます。

カルナウバロウに次ぐ硬さを持ち、発色も良いので口紅やリップクリームのように食品以外でも、より高い安全性が求められる製品に安心してお使いいただけます。

また、低刺激性なので基礎化粧品原料としても、お肌の敏感な方にも安心してお使いいただけます。可塑性に優れておりますので、ヘアワックスなどにも最適です。



利用分野

- ・化粧品(口紅その他の基剤)
- ・食品(コーティング、ガムベースの可塑性) ・各種離型剤
- ・医薬品(錠剤のコーティング)
- ・磨き剤(フロアワックス、靴クリーム、カーワックス)
- ・先端分野(トナー、プラスチック用潤滑剤)

製品参考値

- GMO …………… なし
- 由来原料 …………… 米ヌカ
- アレルギー物質 …… なし
- 原産国 …………… 日本
- 形状 …………… 粒状・フレーク状パウダー状
- 色調 …………… 淡黄色
- 酸価(AV) …………… 13以下
- ケン化価 …………… 75～160
- ヨウ素価 …………… 10以下
- 融点(℃) …………… 70～85

石油ワックス代替 **キャンデリラロウ**

植物系炭化水素 / Plant Hydrocarbon

キャンデリラロウは、メキシコ北部の砂漠高原に生育するタカウダイ草から採れる生命ロウ(セラリカ)です。

優れた温度耐性、光沢性、展延性、分散性を有します。

また、炭化水素含有量が40%～50%と高く、樹脂分を多く含むことが特徴です。この、樹脂分を取り除き、脱色脱臭工程を経て精製されたものが「植物系炭化水素:NC-1630」です。キャンデリラロウの特徴を活かしながら、石油系炭化水素に代わりえる、植物系炭化水素素材です。



利用分野

- ・化粧品(口紅やヘアワックス)
- ・食品(コーティング、ガムベースの可塑性)
- ・医薬品(錠剤のコーティング)
- ・磨き剤 ・電気絶縁材
- ・接着剤 ・鉛筆、クレヨン
- ・撥水剤(織物の防水)
- ・皮革工業

製品参考値

- GMO …………… なし
- 由来原料 …………… タカウダイ草
- アレルギー物質 …… なし
- 原産国 …………… メキシコ
- 形状 …………… 粒状
- 色調 …………… 淡黄色
- 酸価(AV) …………… 14～24
- ケン化価 …………… 40～65
- ヨウ素価 …………… 44以下
- 融点(℃) …………… 60～80